


<p>児童、生徒・クラスの実態</p>	<p>対象は、概ね国語レベルが小学校3～5年生程度の集団6名である。3年生レベルの語彙理解や漢字の読み書きがほぼできる集団である。中には6年生の一部の漢字に対応できる生徒も見られるとともに、知識・能力の偏りや不注意により、小学校2年生レベルのものも正確な回答が出ない生徒も在籍する。</p>
<p>指導目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚補助機器の使用に慣れる。 ・同じ画面を共有することで、友達との一体感を味わう。
<p>場面や授業</p>	<p>国語の授業</p>
<p>使用したアプリについて</p>	<p>①アプリ名（小学1～6年生漢字 読み書き） アプリの特徴 選択肢が用意されており、難漢字でも消去法を利用し回答を得ることが可能である。また、ゲーム感覚で楽しめる点に有効性がある。</p> <p>②アプリ名（日本地図パズル） アプリの特徴 都道府県の漢字を覚える補助教材として、都道府県の視覚的な形や位置からも、読み方や漢字に至るまでのイメージを持ちやすくすることが可能である。また、ゲーム感覚で楽しめる点に有効性がある。</p>
<p>児童、生徒・クラスの様子や変化</p>	<p>ゲーム感覚もあり、楽しんでお互いに声を掛け合って学習に集中していたことが印象的であった。一部ではあるが、同じ問題をペーパーテストで見直した結果、定着率の向上が若干見られた。</p> 
<p>アプリを使ってみて（感想や反省、今後知りたいことなど）</p>	<p>画面を共有し、順番に1問ずつ回答する方法と早押しクイズ形式をおりまぜて学習を進めた。画面を共有することで、友達の回答の様子を観察でき、友達と自分の比較化により次の意欲につながっていると感じている。</p> <p>自分の中で、1回目の研修会で紹介されたアプリ（はなまるでない方）を、クラスの朝や終わりの会で利用したいと考えていたが、その準備に至らなかったことが残念である。</p> <p>アプリではないが、1回目の研修会で紹介された、画面へのアプリ提示を無線化するAppleTVの紹介も大変興味が湧いた。自分は、HDMIケーブルを使用しているが、生徒の扱い方で線の断線を心配している。</p>